



平成 25 年 2 月 15 日

清須市長 加藤静治 殿

清須市自転車等駐車場対策検討会  
会 長 中村 英樹

平成 24 年度清須市自転車等駐車場対策検討会について

このことについて会議を実施し結論を得ましたので、下記のとおり報告します。

## 記

今年度 3 回の会議を開催し検討を行った結果、以下の事項が明らかとなりました。

清須市内には 10 の鉄道駅があり、各駅には自転車駐車が設けられており、自転車の放置、保管、防犯性を考慮し適正な運営が行われているところです。市内では JR 東海道線、名古屋鉄道が平行して走り、名古屋鉄道は、犬山線、津島線の分岐もあり放射線状に分布しており、これらの駅勢圏を見てみると特に通勤通学の自転車利用者にとって利用する駅の選択と利用状況によって、収容台数と利用台数がアンバランスな状態になっているところがあるものと推定されます。

他都市の事例では、自転車等駐車場の整備と有料化によって、受益者負担による非利用者との不公平感の解消、照明や防犯カメラの充実などによる防犯性の向上、近距離利用者の抑制などの効果と、今まで利用者が少なかった民間事業者の利用率が相対的に上昇したという報告がありました。このようなことから、経済的な原理を働かせることも考慮して、道路交通、自転車駐車場の位置、地理的要因を含めて広域的に考える必要があります。

今後は、上記について総合的に調査し、有料化に向けた具体的な方策について正確で詳細なデータを分析して作り上げていくことが重要となります。専門的に自転車駐車場の将来について検討し、整備計画を進めていく必要があります。